

グローバルリソース活用へ

グループワンチームで支援

中国のグローバルCROであるタイガーマッドは、日本を含めたアジアでの事業を加速する。日本法人「タイガーマッドジャパン」は、CROのタイガライズ（アセライズと中国のタイガーマッドの合併会社）、メディカルエッジに加え、イメージングCROを主力とするマイクロンを昨年7月（グループ化した。マイクロン社長の鈴木昌氏を日本法の共同代表に据え、新たな経営体制のもと日本のCRO事業を次の成長ステージへ進めることになった。グローバルCROのリソース、実績を活用しながら、海外企業の日本参入のインバウンド、日本企業のアジア展開支援のアウトバウンドを「ジャパンワンチーム」で支援する。

タイガーマッドジャパン

タイガーマッドは、アジア太平洋、欧米、南米、アフリカにまたがる180超の拠点と1万人超の従業員（中国には約8000人）を擁する。中国における新規作用機序の



鈴木氏



グループ化を進めてきた。今回、日本法人の事業管

理体制を強化する段階に入った。鈴木氏は、「まずは管理部門を固め、グループ各社の特徴を生かして、いかに効率よいチームを構築していくかに取り組む。各社が1社で事業を行っていた時より、格段に受託能力が広がる」と説明する。

Medical Edge
臨床研究に革新をもたらす最先端の技術 (Edge) を提供

強化▽日本企業のアジア市場進出を支援する。タイガーマッドの「タイガーマッドジャパン」は、日本から中国・アジアへ、また中国・アジアから日本へ、双方の間の開発支援および投資の橋渡し役を果たしたい」と抱負を語る。

鈴木氏は、「単なるアウトソーシングではなく、日本の高い開発力とアジアの成長力を結びつけ、新たな医療価値を創出する取り組み。日本を起爆剤として、中国をつなぐハイパスとなり、医薬品・医療機器開発に貢献していく」と力を込める。

中国からのインバウンド増加

アジア治験のニーズに対応

CROのタイガライズは、中国のグローバルCROであるタイガーマッドと国内CROのアクセライズとの合併会社で、タイガーマッドを通じて中国企業からの日本での治験支援（インバウンド）の受託が増えている。近年では第Ⅲ相試験案件も出てくるという。昨年7月に日本のグループ化イメージングCROのマイクロンも加わったことで、グループ化である「ワンチーム」による事業展開の下で、サービスの幅を広げていきたい考えだ。

タイガライズ

同社は2020年月に設立された合併会社。タイガーマッド日本法人



成毛氏

のグループの1社として事業を行っている。タイガライズは、今後の治験動向についてアジア

アを含む形で国際共同治験を展開され、この動きは加速するとしている。そこをアクセライズと、全世界に拠点を持つタイガーマッドが連携することで、グループのノウハウとリソースを活用して、▽日本の国際共同治験の実施支援▽アジア圏の臨床開発を計画している。日本の製薬企業、医療機器メーカーへの開発支援——を行う。

グループのリソースを活用してフルサービスの提供が可能だが、強みは二

Tigermed Tigermed Japan Family and Capability



中国最大手Tigermed社の日本拠点として業務を統括
・日本グループ全体のガバナンス強化とビジネス開発を支援
・投資やM&Aを通じ、日本市場での戦略的成長を加速

<https://tigermedjp.com>



ビジネスパートナーとして治験のワンストップサービス実現
・国内外全ての治験において、高品質かつ効率的に業務を支援
・柔軟かつ革新的なソリューションで、皆様のニーズに応える

<https://tigerise.co.jp>



Imaging Difference - イメージング技術で治験に革新を
・高精度評価と効率的治験を実現し、品質・コスト・スピードUP
・SaMDやセラノスティクスなど高度専門性にも柔軟に対応

<https://microncro.com>

Medical Edge

臨床研究に革新をもたらす最先端の技術 (Edge) を提供
・DMや統計解析に特化したリーディングカンパニーを目指す
・アカデミアのニーズを汲み取り、丁寧なサービスと成果を提供

<https://medicaledge.jp>

中国・アジア治験の支援獲得へ

イメージングCRO事業は継続

マイクロンは、昨年7月中国のグローバルCROであるタイガーマッドグループに入社して、既存のイメージングCRO事業は継続しつつも、新たに試験のインバウンドアウトバウンドの支援にも乗り出した。タイガーマッドを通じて中国企業による日本での治験の支援（インバウンド）の相談が相次いでいる一方、今年は日本企業の中国・アジアでの治験の支援（アウトバウンド）の獲得にも注力する。タイガーマッド日本法人、その傘下のグループ企業と連携して営業し、案件の獲得に取組む方針だ。

マイクロン



大平氏

タイガーマッドは、アジア太平洋、欧米、南米、アフリカにまたがる180超の拠点と1万人超の従業員からなるグローバルCRO。マイクロンは、CROの医用画像を活用した臨床研究・試験を支援するイメージングCRO事業が主力。

タイガーマッドが中国以外でのイメージングCRO機能の獲得、日本からの中国・アジア市場への顧客の取り込みを図る中、マイクロンは特に中国企業の日本参入の需要を取り込みたいと考えていた。その両社の意向

が一致し、昨年7月にマイクロンは親会社であるCEホールディングスをCRO事業が主力の



日本の同グループ傘下のCROのタイガライズ（タイガーマッドとアクセライズの合併会社）が癌領域に強み、マイクロンがイメージングに強いという点で、両社の親和性が高いことも着

目されている可能性がある。マイクロンは、早期開発段階からインバウンド案件を獲得できれば、主力のイメージングCRO受託も、海外のグローバルCROより先んじて獲得できるのではないかと期待する。

インバウンド案件の受託拡大に向け同社は事業体制を強化している。今後1・5倍程度の増員を図る方針で、モニタリング

そのほか、これまでも注力してきた医療機器ソフトウェア（SaMD）の開発・製造販売支援事業

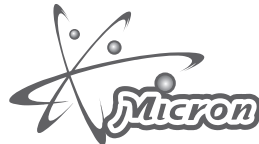
は、一時の勢いは落ちているものの、国内外のベンチャーからの問い合わせが多い状態が続いているという。4月に

同社は、1つシステム開発のフォロワーシステムと鳥取大学との3者で、梅倉（床ずれ）評価を支援するAIソフトウェアを共同開発に向けた基本合意書を締結した。一定の知識や経験が求められ、現場では評価のバリケードが指摘されている。梅倉の評価の一貫性を確保し、医療機器の審査・記録業務の効率化を図るツールとして実用化を目指す。

同社のSaMD開発支援の受託案件も増加しており、受託実績は105件。そのうち認証／承認は33件に上る。同社は、SaMDには実装技術が進んでいると見て、先進医療制度を用いた実装を進める取り組みにも着手し、2人の担当者を配置した。

一連の取り組みについて大平氏は「タイガーマッドグループ入りしたことでグローバル需要に応える体制、オペレーションを進めている。一方、イメージングCROやSaMD開発支援も当社のユニークなサービスとして継続していく」と話している。

VISIT WEBSITE
<https://microncro.com>



株式会社マイクロン
詳しくはホームページをご覧ください

イメージング

イメージングCROサービスをグローバルに展開。豊富な専門知識と多様な画像モダリティでの経験を活かし、設計から運用まで一貫して支援します。

セラノスティクス

セラノスティクス領域における放射性医薬品開発を製造から臨床、画像評価まで一貫して支援。開発全体を効率的かつ高い信頼性で推進します。

SaMD

AI・機械学習を活用したプログラム医療機器開発を支援。要件定義から認証/承認申請まで、専門チームが伴走します。

臨床開発

試験の立案から進捗管理までを包括的に支援。品質とスピードの両立を図りながら確実な試験運用を実現します。

マイクロンの新しい価値を、ここから。

